数学Ⅰ　データの代表値　　(　　)年(　　)組(　　)番(　　)

データの代表値

データ全体の特徴をわかりやすくするために，一つの値で表すことがある。このような値を代表値といい，(　　)，(　　)，(　　)等がある。

中央値

データを大きさの順に並べたとき，中央にくる値を(　　)またはメジアンという。データが偶数個のときは，中央に並ぶ二つの値の合計を 2 で割る。

5 人の生徒の試験前の学習時間(分)を調べると，10, 20,15, 0, 60 であった。これを大きくなる順に並べる(昇順)と(　　,　　,　　,　　,　　)になる。
データが奇数個なので，(1 ＋　　)÷ 2 =(　　)番目の(　　)が中央値になる。

8 人の生徒の通学時間(分)を調べると，10, 15, 10, 30, 40, 60, 50, 20 であった。これを大きくなる順に並べると(　　,　　,　　,　　,　　,　　,　　,　　)になる。
データが偶数個なので(1 ＋　　)÷ 2 = 4.5 になり，4 番目(　　)と 5 番目(　　)の合計を 2 で割った(　　)が中央値になる。

データが度数分布表で与えられている場合は，中央値が属する階級の階級値になる。
偶数個で，中央に並ぶ値が異なる階級に属する場合は，その階級値の和を 2 で割る。

最頻値

データの中で最も多く出ているデータの値を(　　)またはモードという。
度数分布表では，度数が最大である階級の階級値となる。

問題 A　データが次のような値であるとき，中央値と最頻値を求めよ。

(1) 10, 20, 40, 30, 10

(2) 10, 20, 40, 50, 20, 30

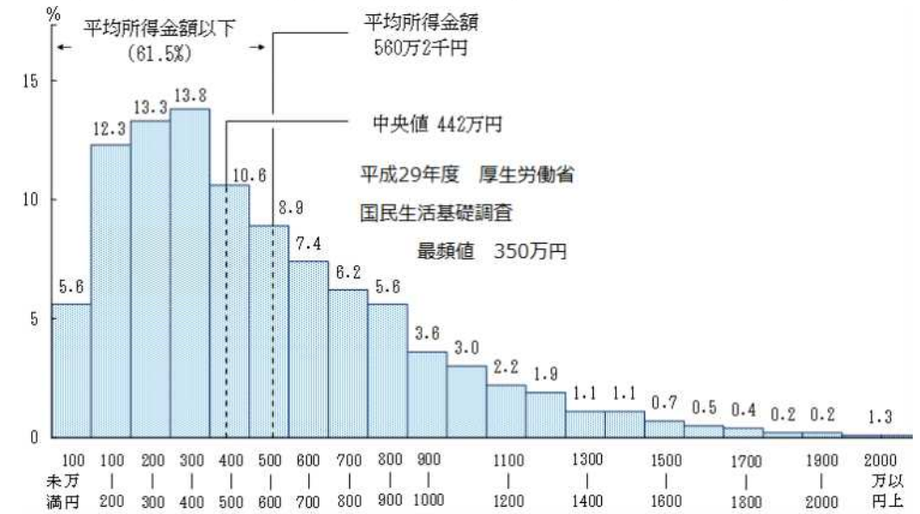
中央値(　　)　最頻値(　　)　　中央値(　　)　最頻値(　　)

平均値

データの合計を全体の度数で割った値を(　　)またはアベレージという。
データが度数分布表で与えられたときは，階級値と度数の積の合計を全体の度数で割る。
※個数が少ない場合や，極端な値があるときは代表値として適当ではない。

問題 B　生徒のテストの点数がそれぞれ 74, 79, 81, **0**, 75, 74, 82, 73, 70, 72 点であった。
平均点を求めよ。また，平均点以上だと喜んでいた A 君(70 点)の順位を求めよ。

問題 C　生徒の通学時間が，次の度数分布表のとき，中央値，最頻値，平均値を求めよ。

階級(分)	階級値	度数	階級値×度数
以上 0 ～10 未満	5	5	
10 ～20	15	8	
20 ～30	25	4	
30 ～40	35	1	
40 ～50	45	0	
50 ～60	55	2	
合計		20	

問題 D　次の資料から日本国民の所得の代表値として，ふさわしい値を読み取りなさい。